

働き者のひいおばあちゃん

池上いけがみ宙奈そらな

私のひいおばあちゃんは農家です。ひいおばあちゃんに会いに行くと、たいい麦わらぼうしをかぶり、タオルを首にまき、野良着を着て、畑から「まあ、よく来たね〜。」と日焼けした顔でニコニコしながら、大きく手をふってくださいます。お米や野菜、小豆やごまなどたくさん農作物を作っています。

季節ごとの旬の野菜と一緒にとったり、野菜の栄養素や育て方の豆知識を教えてくださいたり、まるで農業の先生みたいです。

私は、ひいおばあちゃんが作るお米が大好きです。もううお米は「げん米」です。「あまり白くしないで食べた方が栄養があるんだよ。」と教えてくれました。精米する時は、五分つきにしています。たいてみると、真っ白ではないけれど、あま味がしっかり感じられてとてもおいしいです。

精米する時に出てくる「米ぬか」も「捨てたらもったいないよ。」と、ひいおばあちゃんと言います。畑でとれた新せんなきゅうりやなす、にんじんなどぬかづけにして、私たちに出してくれます。苦手な野菜もぬかづけにすると、もりもり食べられるから不思議です。ごはんとぬかづけだけで、何ばいもおかわりして食べます。「米ぬかは、お肌にとってもいいんだよ。」と言うひいおばあちゃんの肌は、九十才をすぎてもしわが少なくピチピチしています。

私が帰る時、「お米も野菜もいっぱい持って帰るなさい。」と、一目散に畑にかけていくひいおばあちゃんの後ろ姿は大きく見えて、とてもかっこいいです。あれもこれもと食べきれない位の量を車のトランクいっぱいになるまでつんで持たせてくれます。

毎日、朝から日が暮れるまで畑仕事をしているひいおばあちゃん。私が「おばあちゃんは働き者だよね。たまには休んでよね。」と声をかけると、「なーに、年中無休だよ。でも好きでやっていることだから楽しいんだよ。」と、イキイキとした表情で答えてくれます。「自給自足」っていう言葉があるけれど、まさにひいおばあちゃんにびつたりだなぁと思います。そんなひいおばあちゃんのがんばりのおかげで、私は毎日おいしいごはんを食べて元気にすごしています。感謝の気持ちを忘れずに、田植えや収穫の時には、私も少しお手伝いのできたらいいなと思います。

ひいおばあちゃんが育てたお米や野菜は、ひいおばあちゃんの元氣や優しさ、ぬくもりが伝わってきて、私の元氣の源になっています。「ひいおばあちゃん、いつもありがとう。」